

直方中央保育園における自己点検及び自己評価（令和5年度分）

評価基準：【A】90%以上・・・かなりできている 【B】70%～89%以上・・・ほぼできている
 【C】50%～69%・・・努力が必要 【D】49%以下・・・十分な努力が必要

評価方法：【A：5点 B：4点 C：3点 D：2点】

※各職員は自己評価をA～Dで記入し、上記のように5点評価のデジタル化として平均値を表した。

自己評価の観点		評価
1. 保育所保育に関する基本原則		
保育園の役割	①子どもの最善の利益を考慮して、最もふさわしい生活の場になることを理解しているか	4.7
	②子どもの人格尊重を意識して保育を行っているか	4.7
保育理念 保育方針	①園の保育理念や保育方針を理解しているか	4.1
	②保育所保育指針に沿った保育計画になっているか	4.1
	③保育方針のねらい及び内容が達成できるような全体的な計画や保育計画を立てているか	4.0
2. 養護に関する基本的事項		
養護の理念	①養護と教育を一体的に行うことを意識して保育にあたっているか	4.2
	②「養護」は生命の保持と情緒の安定で構成され、「教育は」健康、人間関係、環境、言葉、表現の5領域から構成されていることを理解しているか	4.4
生命の保持	①一人一人の健康状態や発達について把握し、異常に気付くことができるか	4.0
	②生理的欲求が十分に満たされるようにしているか	4.4
情緒の安定	①子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築くよう心掛けているか	4.4
	②自分の思いや意見をはっきり伝えることができるよう配慮し、尊重しているか	4.2
3. 保育の計画及び評価		
指導計画の作成	①保育所保育指針に沿った保育計画になっているか	4.2
	②保育指針のねらい及び内容が達成できるような、全体的な計画や保育計画を立てているか	4.1
	③各年齢の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっているか	4.0
	③子どもの実態や状況の変化に応じて、見直しや改善を行っているか	4.1
評価・反省	①自分の保育を振り返り問題点や課題に積極的に取り組んでいるか	3.6
	②自分の保育に対し、同僚や上司からの意見などを感情的にならず謙虚に聞き時には反省する事ができているか	3.8
4. 乳児保育に関わるねらい及び内容		
基本的事項 ねらい及び 内容	①離乳食については家庭や栄養士・担任と連携を取りながら一人一人の子どもの状態に配慮し行っているか	4.3
	②午睡中は体を仰向けにすることを認識し、顔色、呼吸などの安全チェックを行っているか	4.4
	③生活や遊びの中で、音・形・色・手触りなどに気付かせて様々なものに触れさせているか	4.0
保育の実践 に関わる配 慮事項	④上体を支え足の動きを促すなど、遊びを通して身体発達の援助を行っているか	4.0
	⑤オムツの交換、授乳などのサインを見逃さず受け止め対応しているか	4.1
	⑥発声や喃語を優しく受け止める事で、言葉の理解や発語の意欲を育てているか	3.8
	⑦誤飲、転倒など重大事故につながらないように安全環境に配慮しているか	4.2

自己評価の観点		評価
5. 1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容		
健康	① 生活リズムについては一人一人の子どもの状態に合わせて対応しているか	4.1
	② 走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びを取り入れているか	4.0
	③ 楽しい雰囲気の中で、自分で食べようとする気持ちを大切にしているか	4.2
	④身の回りを清潔に保つ心地良さを感じ、その習慣が少しずつ身につくように援助しているか	4.3
	⑤ 子どもが自分で衣服を着脱しようとする気持ちを尊重しているか	4.2
	⑥ 一人一人の排泄状況に応じた配慮をしているか	4.0
人間関係	① 保育士等との安心したかわりの中で、園生活を送れるようにしているか	4.3
	② 他の子どもとの関わり方を少しずつ身につけられるよう仲立ちをしているか	4.1
	③自分の思いを伝えたり、相手の思いに気付いたりする経験を重ねていけるよう援助しているか	4.1
環境	① 玩具や遊具は安全で、子どもの興味や発達に合った物を選び使用させているか	4.1
	② 積極的に戸外遊びを取り入れて身体の発達を促しているか	4.1
	③ 見る、聞く、触れるなど感覚の働きを豊かにしているか	3.9
言葉	① 楽しい雰囲気の中で、保育士との楽しい言葉のやり取りができるようにしているか	4.3
	② 絵本の読み聞かせや紙芝居など積極的に取り入れているか	4.2
表現	① 水・砂・土・紙・粘土などさまざまな素材に触れて楽しませているか	3.9
	② 音楽、リズム、わらべ歌などに親しみ、手遊びや全身を使う遊びを取り入れているか	4.1
	③ 子どもの表現をしっかり受け止め、共感しているか	4.3
保育の実施に関わる配慮事項	①体の状態、機嫌、食欲など日常の状態の観察を十分行うことで感染症を予防しているか	3.9
	②事故防止に務めながらさまざまな遊びを取り入れているか	4.2
	③進級などで保育士が変わる場合は、子どもの発達に留意し職員間で協力して対応しているか	4.0
6. 保育の実施に関して留意すべき事項		
保育全般に関わる配慮事項	①一人一人の子どもの心身の発達及び活動の実態などの個人差を踏まえ、気持ちを受け止め援助しているか	4.1
	③ 子どもが安心感を持ち、生活できるように配慮しているか	4.2
	③子どもに対して不適切な関わり方を行っていないか（人格の尊重・強要や脅迫的な言葉など・罰を与える、乱暴な関り・個々の育ちや家庭環境の配慮等）	4.1
小学校との連携	① 小学校との意見交換や合同の研究の機会などを設けて情報共有や連携を図っているか	4.0
地域との連携や子育て支援	① 学生の体 3.7 験保育の人々の受け入れを行っているか	4.0
	② 地域の方達へ積極的に挨拶など行い、交流ができる様な雰囲気を作っているか	3.7
	④ 参観やスライド会等を通して、子育ての助言や相談ができていますか	3.7
7. 子どもの健康支援 3.7		
健康発達	① 保健年間計画に基づき一人一人の子どもの健康の保持及び増進に努めているか	4.3
	④ 感染症発生時に、発生状況や感染予防について保護者に通知しているか	4.1
	③不適切な養育の兆候が見られる場合には、市町村と連携が取れるように子どもの情報を職員間で共有しているか	4.1
健康増進	①身体測定や健康診断の結果について定期的に記録し、子どもの健康状態を保護者や職員に伝達し、それを保育に反映しているか（適宜な対応も出来ているか）	4.3

	②子どもの健康情報を共有し、子どもの既往症（アレルギー・熱性けいれん・脱臼癖・喘息など）についてすべての職員に周知するとともに発生時の対応が行われているか	4.4
疾病等への対応	①アレルギー疾患、慢性疾患を持つ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っているか	4.5
	②アレルギー疾患を持つ子どもに対し、栄養士、調理員と連携を持ち、個々に合わせた対応を行っているか	4.5
感染症対応	① 感染拡大防止のための対応を行っているか？ ② 感染防止のためにしている主な事柄を記述して下さい 手指の手洗い、消毒・玩具消毒・室内の消毒、換気・感染ボードの活用・体調不良の園児に対して早めの受診の呼びかけ・予防接種の奨励呼びかけ・咳が出ている子にはマスクの着用奨励（2歳児）・寝具などの日光消毒や洗濯を行う・感染症の周知文を保護者及び職員に知らせ警鐘する・園児の鼻水を細目に拭き取る	
8. 食育の推進		
保育所の特性を生かした食育	① 食育計画のもと発達に応じた食生活が展開され、適切な援助を行っているか	4.2
	②偏食を直そうと、無理に食べさせようとしたり、残さず食べる事を無理強いしたりせず、個々に合わせた量を配膳しているか	4.3
	③乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、調理担当者と保育士が連携して見直しや改善を行う話し合いの場が設けられているか	4.1
	④乳幼児に身につけておきたい挨拶や姿勢、食具の持ち方など食事のマナーを伝えているか	3.9
	⑤ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしているか	3.7
食育の環境整備	① 調理員、栄養士、保護者と連携を持ち、個々に合わせた対応を行っているか	4.4
	②子どもが栽培、収穫した物や調理したものを食べる機会をつくるように心がけているか	4.2
9. 環境及び衛生管理並びに安全管理		
環境及び衛生管理	①園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるように配慮しているか	4.4
	② 生活の場面に合った保育士の声、音楽など音に配慮しているか	3.9
	③ 園内に子ども達が季節感を味わえるような工夫をしているか	4.0
	④ 屋外での活動の場が確保され、子どもたちが活動しやすいように工夫されているか	4.4
	⑤ 子どもが活動しやすいように保育室の温度、湿度、換気、採光などに配慮しているか	3.8
事故防止及び安全対策	①睡眠中、水遊び中、食事中などの場面で重大事故が発生しやすいことを認識し、事故防止に努めているか	4.4
	③ 外部からの侵入に対し、対応できるよう訓練や職員間で確認しているか	4.4
10. 災害への備え		
安全確認	① 消火器・火災受信機・配電盤の設置場所が分かり、操作方法を知っているか	4.0
	② 施設内外の設備及び用具などの衛生管理に努めているか	4.2
	③事故防止・安全管理の為にチェックリストを使い定期的に点検、確認が行われているか	4.3
	③ 食中毒や感染予防の具体的な取り組みを行っているか	4.2
	④ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見る事が出来る様にしているか	4.5
避難への備え	① さまざまな災害を想定した避難訓練を行っているか	4.5
	② 保護者との連絡体制や被災した場合の園の体制等も保護者へ伝えられているか	4.3
連 携	① 地域や地域の関係機関と連携を取り、協力が得られるように努めているか	3.9

11. 子育て支援		
支援と留意事項	①保育士は日常、保護者や子どもの様子を注視し、虐待の予防や早期発見に努めているか	4.3
	② 保護者が子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在になるよう、心がけているか	4.2
保護者との相互理解	①送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換に加え、別に機会を設けて相談に応じたり、個別面談を行っているか	4.1
	③ 家庭の状況や保護者との情報交換が、必要に応じて関係職員に周知されているか	4.4
	④ 「園だより」や「クラスだより」などを定期的に発行しているか	4.4
	⑤ 予め年間行事の日程を知らせ、保護者が保育参加の予定を立てやすくしているか	4.4
	⑤子どもに障害や発達上の課題が見られる場合は、各関係機関と連携や協力を図り、保護者に対する個別の支援を行うよう努めているか	4.3
	⑥外国籍など、特別な配慮を必要とする家庭の場合には状況等に応じて個別の支援を行うよう努めているか	4.4
地域の子育て支援	①地域における子育て支援を実施し、地域の子育て支援ニーズを把握するように努めているか（参観やスライド会での遊びの紹介・行事後のアンケートなども可）	4.1
	③ 子育て支援の情報提供をしているか（保健便りや給食便り、園便り内での紹介も可）	4.1
連携	① 子どもの医療や保健に関する問題について、連絡、相談する外部の関係機関を把握しているか（園医・直方市こども育成課など）	4.2
12. 職員の資質向上		
保育所職員に求められる専門性	① 相手の立場にたった挨拶、電話、来客者応対ができるか	4.1
	② 自己の健康管理ができていますか	4.0
	③保育業務の中で知り得た子どもや家庭に関する秘密の保持について、全職員に周知し、守られているか	4.5
	④保護者や地域の人からの相談事について、プライバシーの保護、話された内容の秘密保持を徹底し、守られているか	4.5
質の向上に向けた組織的な取り組み	① 業務遂行にあたって、正確、迅速かつ、報告・連絡・相談を実践しているか	4.2
	② 公平に人の話を聞いたり、話ができ、正確に伝達できるか	3.9
	③問題意識を共有しながら職員間で共通理解し、協力しているか	4.0
研修の活用	①園内研修を行うことで職員間の共通意識や質の向上に繋がっているか	4.2
	② 各職員について、適切な研修機会の確保が行なわれているか	4.2
<p><総括></p> <p>令和5年度は、自己評価が全体的に少し低くなっている。</p> <p>その理由として新規採用から3年目に入った職員達が、責任感も次第に強くなり、保育の見直しをしっかりとるようになった事が要因と思われる。</p> <p>また、「不適切な保育」を意識する職員も多く、今までAだった評価がBになった事も含まれる。</p> <p>衛生管理や安全管理はこれまで通り評価は変わらず高く、中でも子育て支援への評価が高くなっていることは、職員が保護者の困り感を共有し寄り添う姿が見られる評価だと思う。</p> <p><今年度目標にしている事柄></p> <p>令和6年度の新規採用職員を含め、全職員で子ども達を安全な環境で保育を行い、保護者が安心して預けられる保育園をこれまで同様、常に目標にしたいと思う。</p> <p>研修会も対面式やオンライン等で出来るだけ研鑽の場を設け、資質向上に力を入れたい。</p> <p>子育て支援では関係機関と連携を持ち、保護者も職員も相談できる関係でありたいと思う。</p>		